



平成 29 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 東 海 カ ー ボ ン 株 式 有 限 公 司
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 坂 一
(コ ー ド 番 号 5301 東 証 第 一 部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 理 部 長 松 原 和 彦
(TEL. 03-3746-5100)

業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最 近 の 業 績 動 向 を 踏 ま え、平 成 29 年 2 月 9 日 に 公 表 し ま し た 平 成 29 年 12 月 期 (平 成 29 年 1 月 1 日 ~ 平 成 29 年 12 月 31 日) の 第 2 四 半 期 累 計 期 間 及 び 通 期 の 連 結 業 績 予 想 を 下 記 の 通 り 修 正 し ま し た の で、お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 業 績 予 想 の 修 正 に つ い て

(1) 平 成 29 年 12 月 期 第 2 四 半 期 連 結 業 績 予 想 値 の 修 正 (平 成 29 年 1 月 1 日 ~ 平 成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	43,000	1,800	2,300	4,200	19.70
今 回 修 正 予 想 (B)	47,000	3,100	3,500	4,700	22.05
増 減 額 (B-A)	4,000	1,300	1,200	500	—
増 減 率 (%)	9.3	72.2	52.2	11.9	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年12月期第2四半期)	44,872	△80	△235	△5,900	△27.68

(2) 平 成 29 年 12 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 値 の 修 正 (平 成 29 年 1 月 1 日 ~ 平 成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	89,000	5,200	6,100	7,000	32.84
今 回 発 表 予 想 (B)	95,000	6,700	7,800	8,200	38.47
増 減 額 (B-A)	6,000	1,500	1,700	1,200	—
増 減 率 (%)	6.7	28.8	27.9	17.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年12月期)	88,580	1,131	1,702	△7,929	△37.20

2. 修 正 の 理 由

(1) 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間

売 上 高 に つ い て は、カ ー ボ ン ブ ラ ッ ク に お け る 販 売 量 増 加 及 び 価 格 が 上 昇 し た こ と を 主 要 因 と し て 前 回

予想を上回る見込みです。営業利益は、カーボンブラックの増収効果及び黒鉛電極のコスト削減等により、前回予想を上回る見込みです。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も、営業利益と同様の理由で前回予想を上回る見込みとなりました。

(2) 通期

第2四半期連結累計期間の業績予想修正を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について前回予想を修正いたします。

※ 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上